



【発行】

偕行会リハビリテーション病院

医療相談課

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 FAX 0567-52-3885



～新しい認定看護師が誕生しました～

9月は夏から秋へと移りゆく季節ですが、みなさんは秋と言えば何を思い浮かべますか。「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」など、色々な秋があると思います。私は、院内のマラソン同好会に所属しているので、「もちろん、スポーツの秋！」と言いたいところですが、個人的には食欲の秋、味覚の秋、実り多き秋・・・と食べることばかりを想像してしまいます。実り多き秋と言えば、私たち看護部にもたくさんの実りがありました。

この度、待望の認知症看護認定看護師が誕生しました。認知症看護認定看護師は、ほかのスタッフとともに、認知症の患者様の生活の質・尊厳を尊重したケアをすることが期待されています。ここで、認定看護師について少し説明させていただきます。認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師審査に合格し、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を持つことを認められた看護師です。認定看護師には、3つの役割があります。

1. 実践：患者様やご家族に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を行う。
2. 指導：看護実践を通し、看護職者に対して指導を行う。
3. コンサルテーション（相談）：患者様やご家族、医療関係者に対して特定の看護分野における相談を行う。

当院では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師に続き、2人目の誕生となります。また、回復期リハビリテーション病棟協会認定の回復期リハビリテーション看護師もこれまでの2人に加え、新たに2人誕生予定です。さまざまな領域の認定看護師が増えることで、看護ケアの広がりや質の向上が図れ、個人の意思を尊重した丁寧で温かな看護の提供ができると思います。

食欲の秋も魅力的ですが、始まったばかりの秋の夜長を今年は読書や勉学で過ごしてみたいと思います。看護部では、今後も患者様に満足して頂けるよう、ニーズに適した看護が提供できるように自己研鑽に努めて参りますのでよろしくお願い致します。



看護部長 峯田 幸美

トピックス

夏祭り

8月5日毎年恒例の夏祭りを開催しました。

入院患者様、ご家族様も子供づれで多くの方に参加いただきました。

今年は和太鼓の演奏でスタートし、健康フェスタ、水風船・輪投げ・魚釣りなどのゲームコーナーもあり大盛況でした。模擬店では、焼きそばやフランクフルト、さつまいもスティックなどの販売もあり、リハビリの合間の楽しいひと時となりました。



感想 Aさん
普段は盆踊りも行ったことがなかったのですが、浴衣を着て、焼きそばも美味しい、夏祭りの雰囲気を感じられてよかったです

健康フェスタでは看護師による相談コーナーや血圧測定、体組成、握力測定などもありました。



マジシャン「まさやん」さんのマジックに皆さん驚き!!! 鳩が出てきたり、こんなことになってビックリ!

バルーンアートの「レオ」さん、ピエロの姿で、沢山作ってくれました。患者様も一緒に作りました。



感想 Bさん
太鼓もあって、マジックやピエロもあって!!すごかったわ。生で太鼓の演奏を聴く事などないから本当に良かった!





当院の美人☆栄養士による健康管理のための栄養アドバイスも！



アロマハンドマッサージコーナーでは、アロマの香りとマッサージで癒されました



ゲームコーナーでは輪投げ、水風船、魚釣りなど。子供たちも楽しんでくれたかな？



実行委員の皆さん、大変でしたね！
沢山の笑顔があり、楽しかったです！

避難訓練を実施しました

火災を想定しての避難訓練を実施しました。
非常時に迅速かつ安全に患者様の避難ができるよう、訓練をおこなっています。訓練後には田丸院長から総評をいただきました。



新人スタッフは、消火器を使用しての消火訓練を実施しました



講演会



7月31日、兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 道免和久教授により「脳卒中リハビリテーションの達人になるために」というテーマでご講演いただきました。キーワードは、個々の患者様に最適な医療が提供できるよう努力するという事で、ガイドラインに沿って臨床に取り組む事だけでなく、個別性をもってリハビリを提供できるようにという事でした。



講演後、最先端のリハビリ医療・技術を学び取り入れながら患者様の生活を支えていきたいと感じました



院内ケア研究大会開催

7月1日に「偕行会リハビリテーション病院 第13回院内ケア研究会」を実施しました。98名のスタッフが参加し、日頃の患者様の回復に向けての取り組みや、研究内容など11演題の発表がありました。また、回復期リハビリテーション認定看護師の研修を受講した看護師から、「認知症と身体拘束」「廃用症候群とナースリハビリの取り組み」「コンチネンスケア～便秘について～」のミニレクチャーもありました。また、リハビリ機器体験を通して多職種協業を深めることを目的としてリハビリ部門からの発表と、実際にリハビリで使用する機器を体験する時間もありました。

このような研究発表や、体験を通じて回復期リハ、透析治療、在宅リハと各部門での連携を深め患者様へよりよい医療を提供していきたいと思えます。



リハビリ病院では、多くの機器を使用しています！

ホームページ変更におきて準備中

当院のホームページ変更に向けて準備中です。

先日、病院内でカメラマンの方による写真撮影がありました。変更後また御案内させていただきますので、完成までしばらくおまちください。



～田丸院長 国際リハビリテーション医学会議出席～

7月8～12日、フランスのパリで開催された ISPRM 2018 第12回国際リハビリテーション医学会議に出席されました。



透析センターより

「超音波診断装置を新しく導入しました」



新しい診断装置で
どんなことができる
のですか？

超音波を利用して生体内部の構造や動きを画像化することができる装置です。心臓部や腹部、血管や血液の流れなど安全かつ簡単に見ることができます。

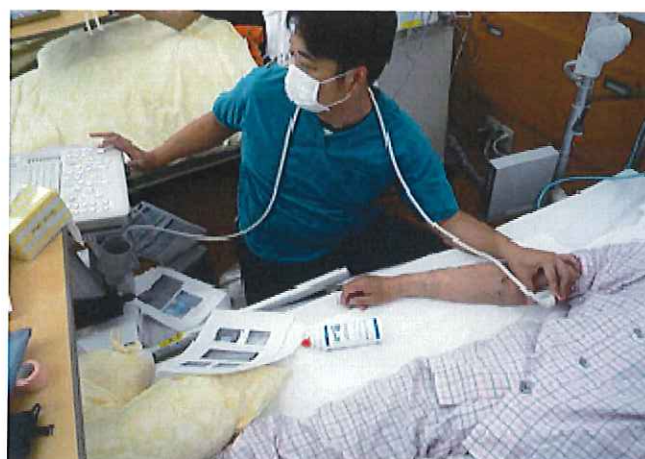
透析室ではシャントにどれくらい血が流れているかの機能評価や、針刺しの失敗を減らすために血管の走行や形状評価を行ない、シャントの状態を確認し狭窄や閉塞などのトラブルを早期発見するために使用しています。

病棟ではエコーガイド下でIVH（中心静脈栄養）穿刺など使用できます。

心臓や腹部、下肢血管なども検査できる高性能のため今後の診療の質の向上に役立てていきます。



診療技術部 臨床工学技士 宮本



連続シリーズ

背面開放座位について

背面開放座位とは？

『できるだけ背面を支持しない空間を作り、背筋を伸ばし脊柱の自然な S 字カーブを損なわない姿勢で、ベッドの端に座り足底をきちんと接地した姿勢』

川嶋みどり氏、紙谷克子氏の『大脳皮質の興奮に最も有利な姿勢である立位に近い座位』に基づき、寝たきりの高齢者や意識障害者に提供され、表情の変化や発語の増加などが認められた姿勢です。



どんな効果があるの？

意識レベルの改善や廃用症候群の予防において有効的です。先行研究では、身体に刺激を与える姿勢であることや、交感神経活動を賦活化させ、副交感神経活動を低下させるといったことが明らかになっています。



座位姿勢



★生活行動の基本となる姿勢★

座位時間が延長することで・・・

- * 手浴や足浴 * テーブルを利用した食事や作業療法 * 立位など ADL 拡大
- * 車椅子での離床や散歩など生活の基盤となることが増えていきます。

これを機に趣味や、家族との時間を取り入れながら、その人らしい時間をもてるよう関わっていきましょう。

栄養士がおすすめる今日のレシピ

甘酒ピクルス

砂糖ではなく甘酒を使用したピクルスです。さっぱりと食べられます♪

材料

○ピクルス液

酢	200ml
麴甘酒	100ml
水	100ml
塩	大さじ 1/2

○お好みの野菜

キュウリ、パプリカ、大根、にんじんなど

作り方

- ①調味料を全て混ぜ、ピクルス液を作る
- ②お好みの野菜をスティック状にカットして瓶などの容器に移し、①を流し込む
- ③半日～1日漬けて完成！



ハーブやスパイス無しでも美味しく食べられますが、ローリエや赤唐辛子、黒胡椒も合いますので、是非一緒に漬けてみてください！

余ったピクルス液をアレンジ

◎ピクルス液にオリーブオイルとすりおろしにんにくを加えて混ぜる。ブラックペッパーを振ればカルパッチョソースの完成です。

◎ピクルス液に鶏肉や豚肉を30分程漬けてから調理すると、軟らかく仕上がります。



甘酒には麴を使用した物と酒粕を使用した物の2種類があります。

麴甘酒は米麴と米、水を合わせ発酵させて作ります。アルコール分は含まれておらず、基本的には砂糖不使用で、麴によって引き出された優しい甘さが特徴です。麴甘酒は飲む点滴とも言われており栄養豊富です。

酒粕甘酒は酒粕に水と砂糖を加えて作ります。アルコールも含まれていますので、飲む際には注意しましょう。

✿今回は麴甘酒を使用しました✿

食事療法を行っている場合は
医師や管理栄養士などに相談しましょう

管理栄養士

竹内 理菜

在宅支援リハビリテーション課の活動報告

海部南部広域事務組合が主催する平成30年度調査員研修会において、当院の在宅支援リハビリテーション課から川瀬理学療法士、川口理学療法士が講師として「自立支援・重症化予防の視点を持ったマネジメントのために」というテーマで講演をおこないました。

介護保険領域では、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、訪問看護ステーションのリハビリテーションなどがあります。「リハビリとは?」「地域におけるリハビリテーションとは?」「それぞれのサービス利用の違いはなんだろう?」ということも理解を深めていただけるよう講演しました。また、利用者の方がどのような活動をしたいか、参加ができるかなどを設定して具体的な目標を設定しリハビリに取り組むことが必要であることもお伝えしました。

今後もしリハビリテーションの専門職として、介護保険の各事業所、多職種と連携が図れるように努めていきたいと思っております。



これからも
顔の見える関係づくりに
努めていきたいと思
います。



【私たちの基本理念】

- 1、患者のための医療を目指します。
- 2、他の医療機関と連携して、地域医療の発展を目指します。
- 3、教育・研究を重視し、職員の自己研鑽に努めます。

医療法人偕行会

偕行会リハビリテーション病院

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883(代表)

FAX 0567-52-3885

URL <http://www.riha-kaikou.com/>

FB <http://www.facebook.com/riha.kaikou>

